

第1期末 (2017年2月13日)	
基準価額	12,099円
純資産総額	613百万円
騰落率	21.0%
分配金	0円

ニッセイ米国株 テーマローテーション ファンド(資産成長型)

愛称 さきよみ(資産成長型)

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

作成対象期間：2016年2月26日～2017年2月13日

第1期 (決算日 2017年2月13日)

受益者の皆様へ


平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ米国株テーマローテーションファンド(資産成長型)」は、このたび第1期の決算を行いました。


当ファンドは、「TCWファンズⅡ-TCWテーマローテーション株式ファンド」への投資を通じて、米国の証券取引所に上場している株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも是非ご継続頂き、いっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

 **0120-762-506(コールセンター)**

受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。

 <http://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

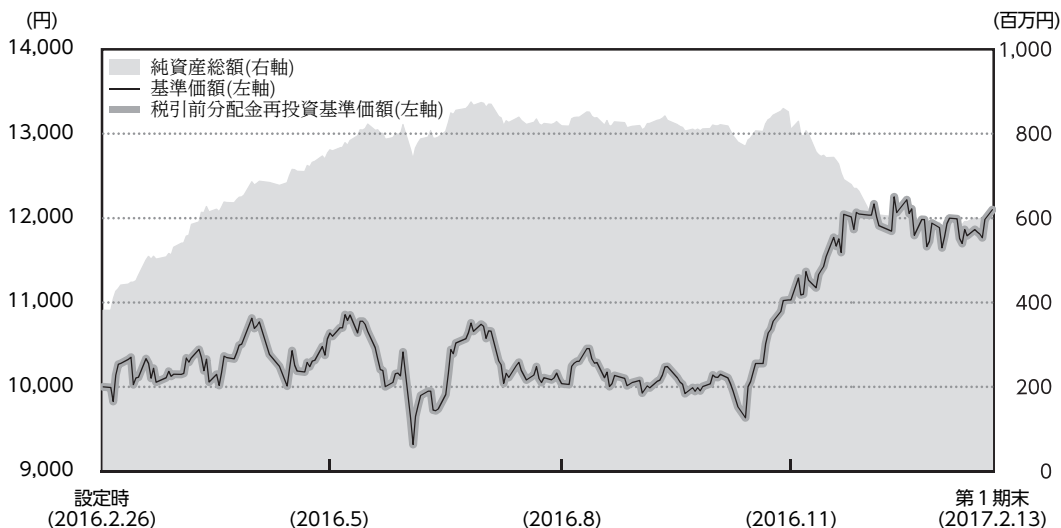
- 当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。上記ホームページの「基準価額一覧」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「商品ページ」において、運用報告書(全体版)をダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

ニッセイ米国株テーマローテーションファンド（資産成長型）

運用経過

2016年2月26日～2017年2月13日

基準価額等の推移



設定時	10,000円	既払分配金	0円
第1期末	12,099円	騰落率（分配金再投資ベース）	21.0%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。以下同じです。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は、設定時以降、レンジ圏で上下に振れる展開となりましたが、6月下旬に実施されたイギリスの欧州連合（EU）離脱（Brexit）をめぐる国民投票の結果、離脱派が勝利したことを背景に株安と米ドル安円高が進行したことから、一時急落しました。その後、主要国の協調的な対策によりBrexitの影響が限定的になるとの期待などを受けて株価が反発したことから基準価額は値を戻しました。11月の米大統領選後は、トランプ次期政権による経済対策への期待などを背景に株価が上昇し、米景気の拡大期待などから米ドルが対円で大きく上昇したことも加わり、基準価額は大幅に上昇しました。

ニッセイ米国株テーマローテーションファンド（資産成長型）

1 万口当たりの費用明細

2016年2月26日～2017年2月13日

項目	第1期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	136円	1.280%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,593円です。
(投信会社)	(44)	(0.418)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(89)	(0.836)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.026)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.011	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(監査費用)	(1)	(0.011)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	137	1.290	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

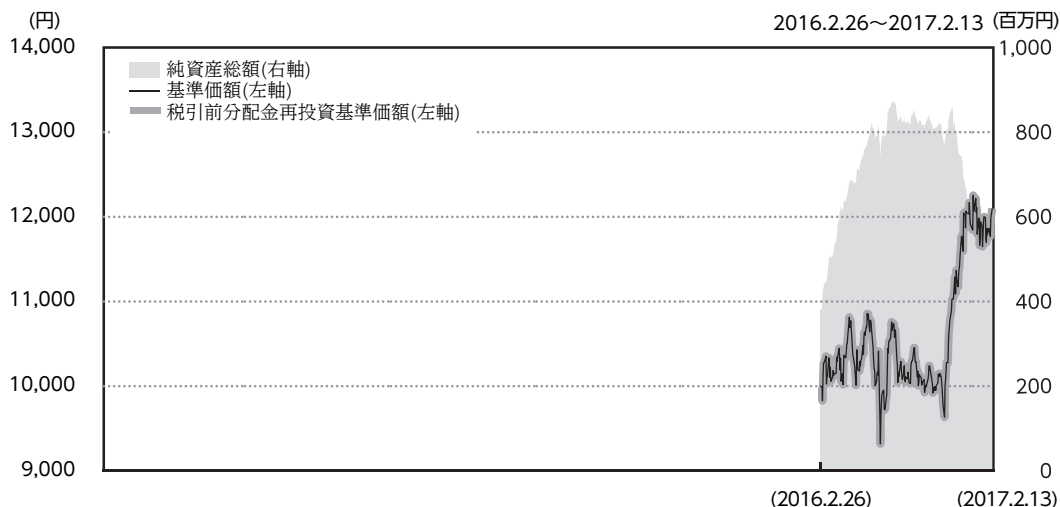
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

ニッセイ米国株テーマローテーションファンド（資産成長型）

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 当ファンドの設定日は2016年2月26日です。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日		2016年2月26日	2017年2月13日
基準価額（分配落）	(円)	10,000	12,099
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	0
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	21.0
参考指数騰落率	(%)	—	24.0
純資産総額	(百万円)	381	613

(注1) 参考指数はラッセル3000インデックス（配当込み、円ベース）です。ラッセル・インデックスに関連するトレードマーク、サービスマークおよび著作権は、ロンドン証券取引所グループに属する会社に帰属します。インデックスは資産運用管理の対象とはなりません。またインデックス自体は、直接投資の対象となるものではありません。以下同じです。

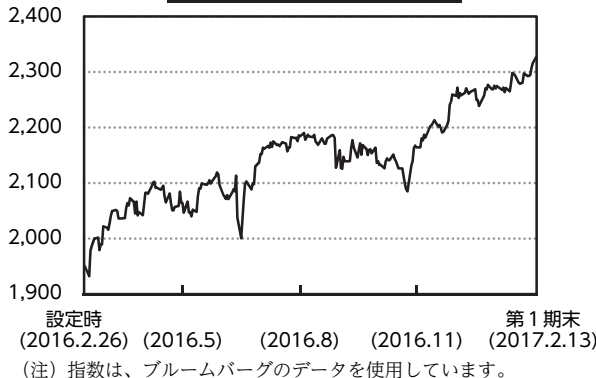
(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

ニッセイ米国株テーマローテーションファンド（資産成長型）

投資環境

米国株式市況

S&P500株価指数の推移

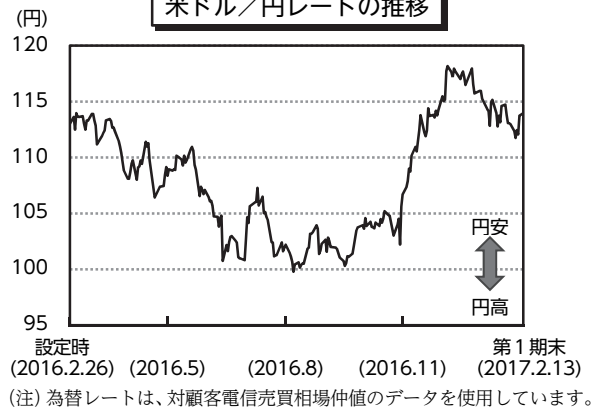


当期の米国株式市場は上昇しました。設定時以降、原油価格が上昇基調で推移したことや欧州金融機関に対する懸念の後退などが好感され、株価は堅調に推移しました。6月下旬に実施されたBrexitをめぐる国民投票の結果、離脱派が勝利したことを背景に株価は一時急落しましたが、その後は、主要国の協調的な対策によりBrexitの影響が限定的になるとの期待などを受けて反発しました。

期後半は、米大統領選に向けた警戒感などを背景に一時下落したものの、選挙後はトランプ次期政権による経済対策への期待などから投資家のリスク回避姿勢が緩和し、株価は上昇基調となりました。当期末にかけても、良好な企業決算や経済指標などを背景に堅調な推移が継続しました。

為替市況

米ドル/円レートの推移



当期の為替市場は、小幅な米ドル高円安となりました。

設定時以降、米国で追加利上げが先送りされるとの見方などから、米ドルは対円で軟調な推移となりました。6月下旬に実施されたBrexitをめぐる国民投票の結果、離脱派が勝利したことを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、米ドル安円高が進行し、その後も上下に振れる推移が継続しました。

11月の米大統領選後は、トランプ次期政権による政策期待や米景気拡大期待が広がったことから、米ドルは対円で大きく上昇しました。さらに、米国債利回りが急上昇し、日米金利差が拡大したことから、米ドル買い円売りが加速しました。

当期末にかけては、トランプ大統領による保護主義的な政策への懸念などを背景に、米ドル安円高となりました。

ニッセイ米国株テーマローテーションファンド（資産成長型）

ポートフォリオ

当ファンド

外国投資信託証券への投資を通じて、米国の証券取引所に上場している株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

TCWファンズⅡ－TCWテーマローテーション株式ファンド

※ TCWアセット・マネジメント・カンパニーの資料（現地における当期末の前営業日基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

徹底した調査・分析に基づき、短期（6カ月～1年程度）、中期（1年～3年程度）、長期（3年以上）と時間軸の異なる複数の投資テーマを選定し、各投資テーマに関連する企業の中からボトムアップ・アプローチで組入銘柄を厳選しました。なお、投資テーマの入れ替え（テーマローテーション）は機動的に行いました。

当期末時点での業種配分は、組入比率の高い順に情報技術（26.5%）、ヘルスケア（20.0%）、エネルギー（16.1%）としています。

（注）業種はGICS分類（セクター）によるもので、比率は対純資産総額比です。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

時間軸および投資テーマ別の組入比率は以下の通りです。

時間軸	投資テーマ	比率	注目点
短期	OPEC（石油輸出国機構）の減産に向けた取り組み	14.8%	OPECの原油価格下支えに向けた生産調整により恩恵を受けるエネルギー関連企業に投資を行います。
	トランプノミクス	11.8%	トランプ新政権の政策転換により恩恵を受ける企業に着目します。
	個人消費の回復	13.7%	米国における雇用の裾野の広がりによる賃金上昇、低所得層を対象とした最低賃金引き上げの傾向、家計におけるエネルギー支出の低下が、今後さらに米国個人消費を刺激すると予想しています。また、リストラ・コスト改革を積極的に推し進め、利益率を高めてきた優良消費関連企業は、今後の個人消費復活に伴って利益の上昇も期待できます。利益率の高い優良消費関連企業やディスカウントショップ・1ドルショップなど低所得層の利用頻度の高い小売店などに着目します。
	鉄道による貨物輸送の増加	6.7%	貨物輸送におけるシェアがトラックから鉄道へシフトしており、シェア拡大により恩恵を受ける鉄道会社に着目します。

ニッセイ米国株テーマローテーションファンド（資産成長型）

時間軸	投資テーマ	比率	注目点
中期	クラウド・コンピューティングの拡大	23.2%	デジタル消費の拡大に伴い成長が期待されるソーシャルメディア企業、クラウドインフラ構築企業、ビッグデータの分析・解析を行う企業に着目します。
	医薬品需要の増加	5.9%	高齢化等の進展に伴い中長期的に需要の増加が見込まれる医薬品関連企業、特にジェネリック・専門薬品の大手医薬品卸企業に着目します。
長期	医療の技術革新	14.4%	免疫療法、遺伝子療法など革新的な医療技術や新薬を開発中の企業に着目します。
	未来の自動車への期待	9.4%	技術革新が著しい自動車関連企業に注目します。特にドライバーの安全運転支援、電気自動車、自動運転技術等を提供する企業に着目します。

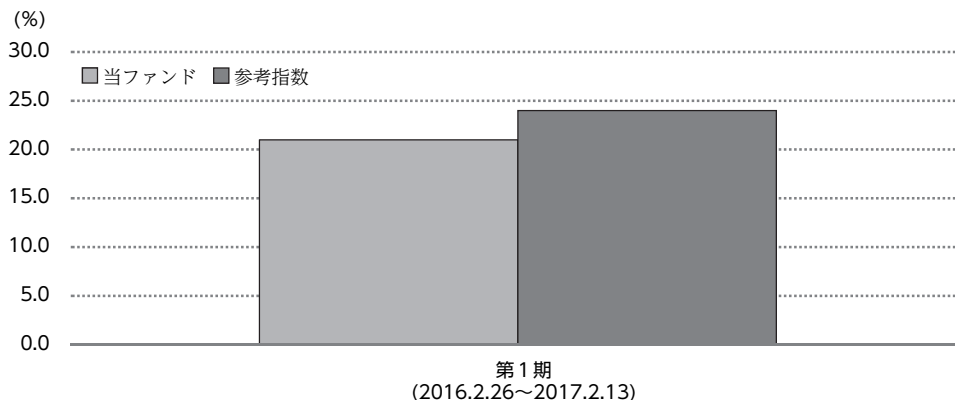
(注) 投資テーマはTCWアセット・マネジメント・カンパニーの分類によるもので、比率は対組入株式等評価額比です。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資しました。

ニッセイ米国株テーマローテーションファンド（資産成長型）

参考指数との差異



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

当期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は+21.0%となり、参考指数騰落率（+24.0%）を下回りました。これは、主に金融セクター銘柄の少なめの配分などの業種配分効果がマイナスに影響したことなどによるものです。

分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2016年2月26日~2017年2月13日
当期分配金（税引前）	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,098円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

当ファンド

今後も、外国投資信託証券への投資を通じて、米国の証券取引所に上場している株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

TCWファンズⅡ－TCWテーマローテーション株式ファンド

米国企業の収益は回復し続けており、2016年10－12月期の収益は、景気低迷と米大統領選前後の不安定な環境下にもかかわらず、前年比で約4－5%の成長を記録する見込みです。原油価格が50ドル台で推移していることから、エネルギー関連企業の業績に恩恵をもたらし、多くの企業の業績予想が上方修正されています。投資家や金融市場は、トランプ大統領の掲げる政策の不確実性に直面していますが、法人税率の引き下げや海外利益の還流に対する大幅減税が一部でも実現された場合、企業収益は大きく増加する可能性があります。しかし、民主党の反対も予想されており、税制改革の見通しは不確実性が増しています。また、株式市場のバリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して割高・割安を判断する指標）が過去10年で最も高い水準で推移していることから、株価は中長期的な上昇は期待できるものの、上下に振れやすい展開になると考えています。このような環境下で株価成長が期待できる魅力的な投資テーマの選定を行います。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

ニッセイ米国株テーマローテーションファンド（資産成長型）

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

	第1期末
	2017年2月13日
TCWファンズII－TCWテーマローテーション株式ファンド	98.5%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

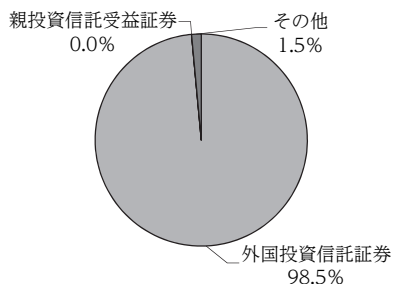
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

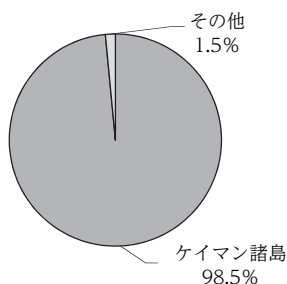
項目	第1期末
	2017年2月13日
純資産総額	613,959,397円
受益権総口数	507,454,309口
1万口当たり基準価額	12,099円

(注) 当期間中における追加設定元本額は509,676,487円、同解約元本額は383,991,552円です。

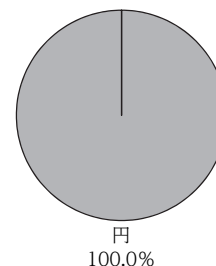
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2017年2月13日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ米国株テーマローテーションファンド（資産成長型）

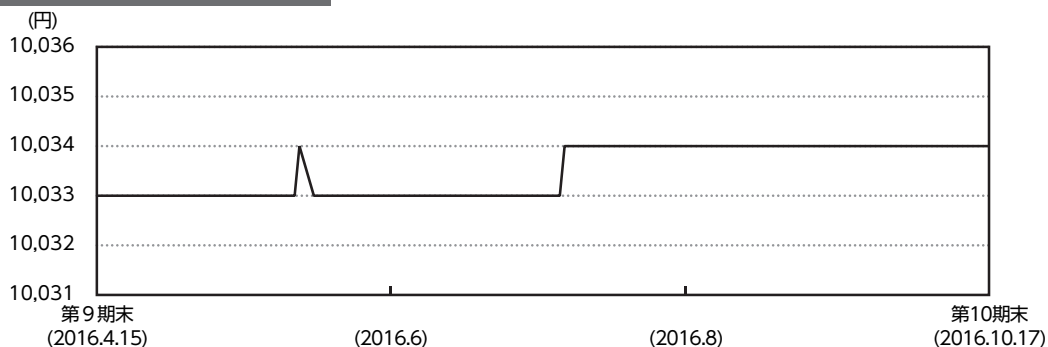
TCWファンズⅡ－TCWテーマローテーション株式ファンドの概要

「TCWファンズⅡ－TCWテーマローテーション株式ファンド」（ケイマン籍外国投資信託証券）は2017年3月に初回決算を迎えるため、開示対象ファンドの運用報告書作成時点において監査済み財務諸表が存在しないことから、記載すべき情報はありません。

ニッセイ米国株テーマローテーションファンド（資産成長型）

ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

基準価額の推移



上位銘柄

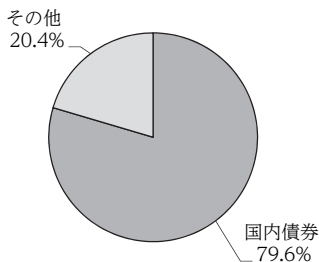
銘柄名	通貨	比率
平成24年度第1回 あいち県民債	円	19.9%
平成18年度第10回 兵庫県公募公債	円	19.9
第81回 大阪府公募公債（5年）	円	19.9
第5回 埼玉の川・愛県債	円	15.9
第458回 名古屋市公募公債	円	4.0
組入銘柄数		5

1万口当たりの費用明細

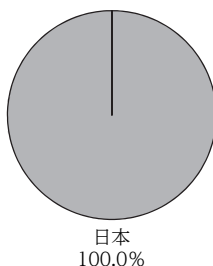
2016.4.16～2016.10.17

項目	金額
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

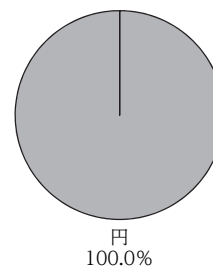
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。費用項目の概要については2ページをご参照ください。

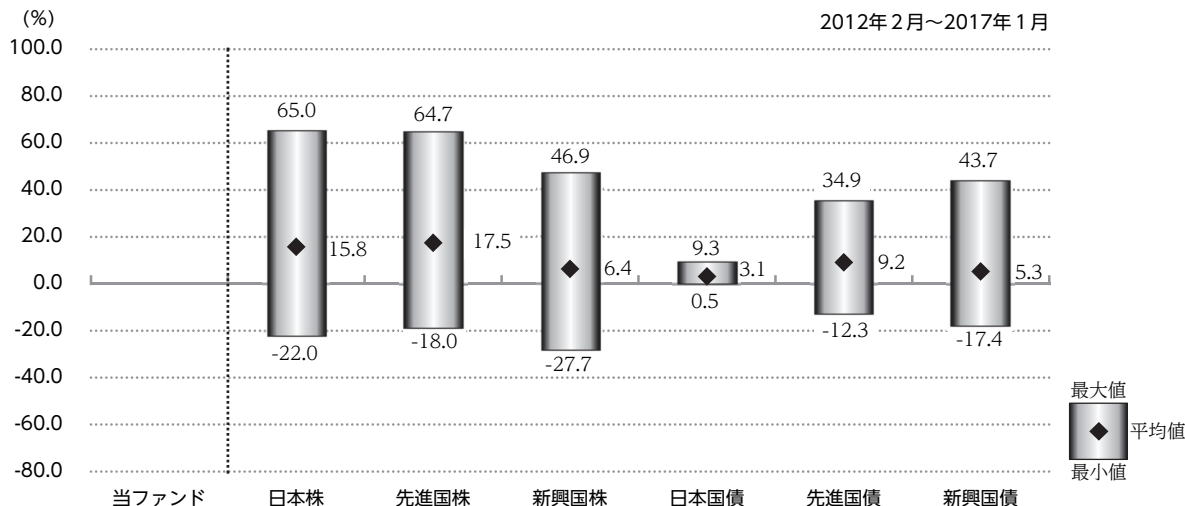
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2016年10月17日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

ニッセイ米国株テーマローテーションファンド（資産成長型）

参考情報

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 上記は、当ファンドの騰落率（税引前分配金再投資基準価額騰落率）と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが1年分に満たないため、比較すべきデータが存在しません。

<代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数>

- 日本株・・・TOPIX（東証株価指数）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

- すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 海外の指数は、「為替ヘッジなし（対円）」の指数を採用しています。

- TOPIX（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。
- MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- NOMURA-BPI 国債とは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
- シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCが開発した債券指数で、著作権、商標権、知的財産権、その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、JPモルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。

お知らせ

運用体制の変更について

代表取締役社長に赤林富二が就任いたしました。

(2016年4月1日)

自社の実質保有比率

2017年1月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に99.3%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

ニッセイ米国株テーマローテーションファンド（資産成長型）

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	2016年2月26日～2021年2月12日	
運 用 方 針	外国投資信託証券への投資を通じて、米国の証券取引所に上場している株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ米国株 テーマローテーション ファンド（資産成長型）	「TCWファンズII－TCWテーマローテーション株式ファンド」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」
	TCWファンズII－TCW テーマローテーション 株 式 フ ァ ン ド	米国の証券取引所に上場している株式
	ニッセイマネーマーケット マザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品
運 用 方 法	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。 	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。	